

自己評価報告書

2023年度

1. 学校の教育目標

教育理念「学生の目的に適した日本語教育」であり、日本国内における進学や就職及び帰国進学や帰国就職時に必要な日本語力と日本文化を正しく理解させるために教育することである。

2. 開校当初より学生に掲げるキーワード計画

開校より友ランゲージアカデミーは「楽しく・まじめに日本語を学ぼう！」をキーワードとして、学校運営及び学校教育に生かしている。初めて経験する日本での生活に於いて、本校での学習やアルバイトを通じた日本社会経験など、学生が目的・目標を忘れることなく日本語学習に励むことができるように教職員が常に学生に対して意識付けしなければならない。また友国際文化学院は確実な日本語力！確実な進学！」を掲げ、学生の日本語力と卒業後の進学について、より強固に指導していかなければならない。友ランゲージアカデミー札幌校は「札幌から始まる！夢への第一歩！」を掲げ、北海道の自然の豊かさを学校教育に生かしながら楽しく勉強し、その中でも基礎がしっかりとした日本語力を学べるようにしています。

3. 評価項目の取り組み状況

(1) 教育目標・理念

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学校の教育目標・理念は定められているか	④・3・2・1
社会のニーズ・学生のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④・3・2・1
学校の教育目標・理念などが学生や保護者・紹介機関に周知されているか	④・3・2・1

本校の教育目標や理念は、開校当初より本校に合った学生募集をテーマに行っており、紹介機関を通じて、学生・保護者に周知できていると考える。教育という現場に於いて学校経営のみを重視した学生募集を行わず、本校を正しく理解し学ぶ意欲の高い学生に入学して頂く為に、各国での説明会や入学試験を行っている。昨年はコロナウィルスの影響によりオンラインでの実施ではあったが、今年は現地での実施を行っております。

(2) 学校運営

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
目的に沿った運営方針が策定されてるか	④・3・2・1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4・③・2・1
運営組織や意思決定機能は、規則などにおいて明確化されているか、有効に機能しているか	④・3・2・1

(3) 教育活動

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	④・3・2・1
教育理念や学生のニーズを踏まえた教育機関として、教育到達レベルの確認や補講などは明確にされているか	④・3・2・1
学生や時代のニーズに合ったカリキュラムや教育方法の工夫や開発などがされているか	④・3・2・1
学生からの授業評価の実施及び評価体制はあるか	4・③・2・1
成績評価の基準は明確になっているか	4・③・2・1
教職員の能力開発の為に研修などがおこなわれているか	4・③・2・1

進学や就職など学生が目標とする日本語力を向上させるために、各校で様々な取り組みを行っている。日本語レベルに応じたクラス編成（友ランゲージ）・学生との個人面談を頻繁に行い学習成果の確認などを行う（友国際）・少人数制での授業の実施やクロムブックを使用して授業時間を有効活用している（札幌校）。研修活動について、今年は東京での開催を実施することができました。

(4) 学習成果

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
進路決定率の向上が図れているか	4・③・2・1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4・③・2・1
日本語能力試験や日本留学試験の結果を把握し分析しているか	④・3・2・1
日々の学習成果を確認しているか	④・3・2・1

ほとんどの学生が希望する進路先を決定し卒業することができました。一部、就職希望者においては決定できず、学校の推薦基準をパスした者については特定活動ビザ（就職活動）の申請をし活動しています。

(5) 学生支援

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
進学・就職に関する支援体制は整備されているか	4・③・2・1
学生相談に関する体制は整備されているか	4・③・2・1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4・③・2・1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・3・2・1
学生の生活環境への支援は行われているか	④・3・2・1

各校、大学進学担当・専門学校担当・就職担当により学生への指導・支援体制ができている。学校奨学金・サポートシップ制度・2年日以降の学費分納など学生の経済的援助を行っている。また、入学後の健康診断や体調不良時には、各言語のスタッフが医療機関まで連れて行くなどの支援を行っている。学生寮を完備しており、学校より徒歩圏内で安価である。また、グループ会社で運営している食事施設では朝食・昼食などを安価に提供する支援も行っている。緊急時の対応（AED使用や救命措置）についての講習をするなど来年度計画していきたい。

(6) 学生の受入れ募集

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学生募集活動は適正に行われているか	④・3・2・1
学生募集活動において、教育成果や学習指導状況が正確に伝えられているか	④・3・2・1
学納金は妥当なものとなっているか	④・3・2・1

各国の留学センターに於いて、本校の説明を十分に行い、本校に見合った学生を紹介してもらえる体制が整っている。留学センター担当者の学校見学は、積極的におこなっており、学生寮なども含め学校のみならず生活環境も見学頂いている。納入金は、妥当な金額であると考えている。経済的理由による分納制度など、学生負担が掛かりすぎないような努力を行っている。

コロナウィルスの影響により留学生全体の募集について、苦戦を強いられていたが以前の人数と同様になっており、来年度については過去最高の留学生数になる予想。今後の課題としては学生数増についてのフォロー体制作り。

(7) 財務

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4・③・2・1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4・③・2・1
財務について会計監査が適正に行われているか	④・3・2・1

会計監査によって財務は適切に行うことができている。

コロナの影響で昨年は苦戦していたが以前の人数同様（微増）になり、収入も安定してきました。

(8) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切4・ほぼ適切3・やや不適切2・不適切1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっているか	4・③・2・1
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4・③・2・1
地域や関連行政との交流や情報交換を行っているか	4・③・2・1

コロナウィルス以降ボランティアや地域連携について実施できておらず、次年度については実施できるようにしていきたいと考えております。